

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

神戸市長宛

提出者

住所 兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目1番3

氏名 川崎重工業株式会社

代表取締役社長 橋本康彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 078-371-9530

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川崎重工業株式会社 西神戸工場
事業場の所在地	兵庫県神戸市西区櫛谷町松本234番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2523 油圧・空圧機器製造業
②事業の規模	製品出荷額 76,834 百万円 (令和4年度実績)
③従業員数	1290人 (令和5年4月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 状況	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) ・梱包用緩衝材の見直しによる排出量抑制 ・洗浄液廃液の浄化による再使用により排出量を抑制	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) ・梱包用緩衝材の見直しによる排出量抑制を継続実施 ・洗浄液廃液の浄化による再使用により排出量の抑制を継続実施	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① プラスチックとゴム類を細分化して分別収集を継続中。 ② 廃油と廃液を分類して管理し、効率の良いリサイクルを推進中。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① プラスチックとゴム類を細分化して分別収集を継続中。 ② 廃油と廃液を分類して管理し、効率の良いリサイクルを推進中。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 状況	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 状況	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・生産工程で使用される工業用水等は下水道を通じて処理される。 ・塗装工程で発生する汚泥を委託業者にて引き取り再利用。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・生産工程で使用される工業用水等は、下水道を通じて処理される。 ・塗装工程で発生する汚泥を委託業者にて引き取り再利用。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 状況	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 状況	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り排出廃棄物をリサイクルできる委託業者への排出を行い、排出廃棄物のリサイクルの推進を行ってきた。		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 排出廃棄物をリサイクルできる委託業者への排出を行い、 排出廃棄物のマテリアルリサイクルへの増加を推進していく。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

1. 会社の概要

- (1) 会社名
川崎重工業株式会社
- (2) 資本金
104,484百万円
- (3) 従業員数
39,689名(連結)

2. 当該事業場において現に行っている事業の概要

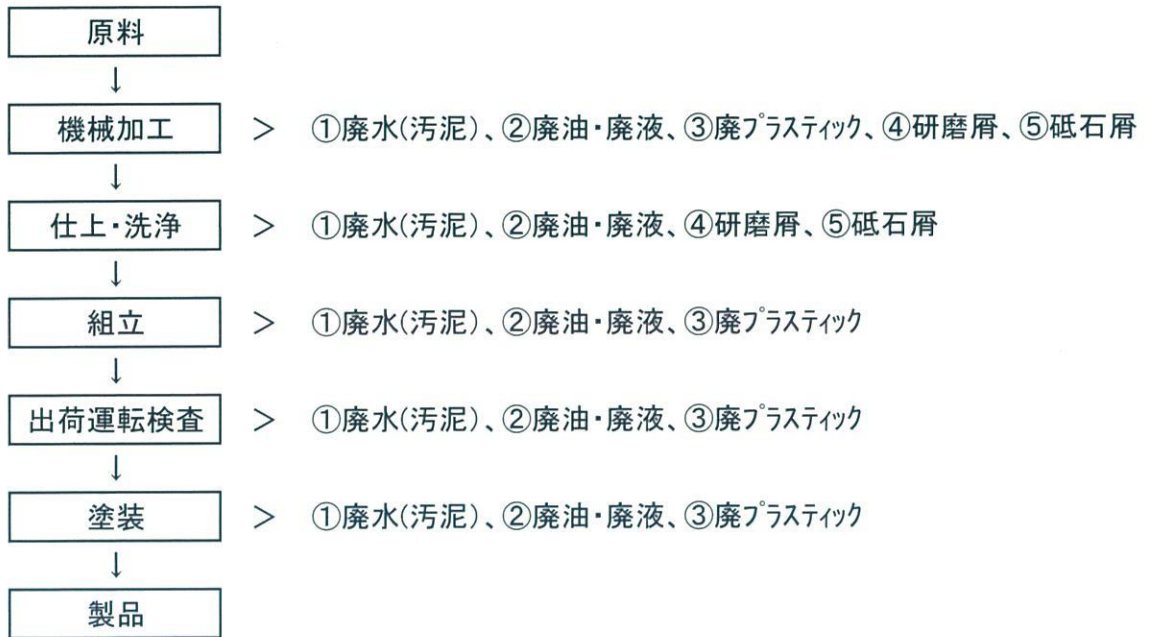
- (1) 従業員数
1,290名
- (2) 製造品出荷額等
63,659百万円(令和5年度)
- (3) 製造概要
当工場では、油圧ポンプ・モータ・バルブ等の油圧機器をはじめ、油圧ユニットおよび機電製品等を設計、製造している。
また、2018年度より産業用ロボット等を設計、製造している。
- (4) 事業展望
中国建設機械市場向け油圧機器の受注が減少したことにより操業度は減少した。
2023年度の排出量は前年度より約70ton減少した。
廃棄物処理対策としては、2002年3月にゼロエミッション体制を確立させ、以降、2023年度も最終処分率は、1%以下を達成した。
2024年度は、2023年度と同様中国建設機械市場向け油圧機器が低調であり、操業度はほぼ横ばいの見通しで廃棄物量も昨年度と同レベルと予想されるが、ゼロエミッション体制を継続させる。
- (5) 連絡先
担当者: 川崎重工業株式会社 西神戸工場
企画本部 総務部 藤原章治
電話番号: 078-991-1133

3. 計画期間

2024年4月1日から2025年3月31日まで

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

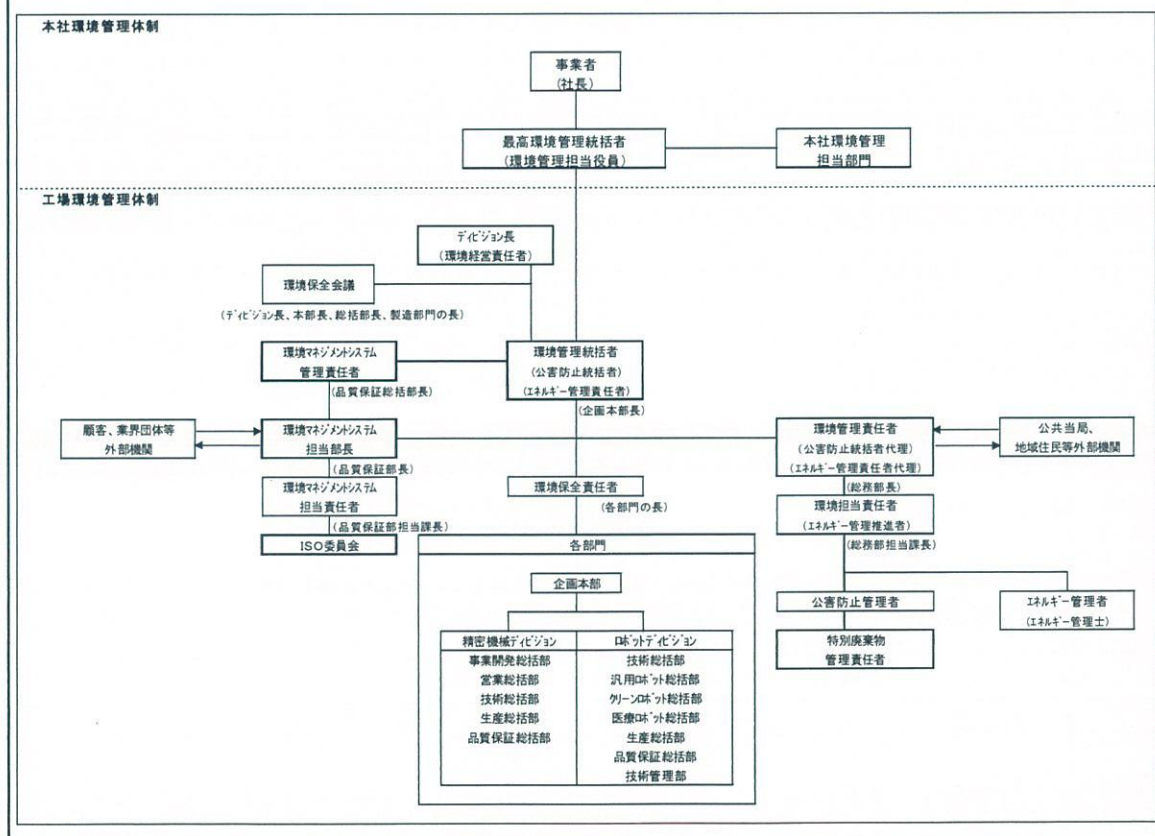
○産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図

統括責任者	所属 西神戸工場 職・氏名 デイビジョン長 丸居 英夫
廃棄物担当	組織名:企画本部 総務部 職・氏名 部長 岑吉 秀信 組織人数:6人
役	環境保全会議 ・廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進並びに計画的な廃棄物処理管理を運営する上で必要な事項を検討する。 主宰:環境管理統括者 ・委員:執行役員、総括部長、製造部門の長 事務局:企画本部 総務部
	環境経営責任者 ・環境管理統括者の選定 ・廃棄物処理方針の策定 ・関係監督官庁への各種報告 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	環境管理統括者 ・廃棄物処理計画および廃棄物処理運用管理の取り纏め ・従業員、関連会社に対する教育・啓発
	公害防止統括者 ・公害防止管理者および特別廃棄物管理責任者の選任 ・公共当局、地域住民等の外部機関とのコミュニケーション取りまとめ
	環境マネジメントシステム管理責任者 ・環境マネジメントシステムの確立、実施および維持を確実にする。
	ISO委員会 ・環境マネジメントシステム管理責任者の諮問委員会として推進する。 ・廃棄物処理管理活動の維持・改善推進に関する事項全般にわたり、立案・指示・伝達・実施を行う。
	廃棄物担当 (公害防止管理者含) ・産業廃棄物処理施設の運転・維持管理および委託処理業務管理 ・処理業者、再生利用業者の調査、選定および管理



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(令和5年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
排出量	311t	1,608t	62t	20t	5t

○目標(生産増減の影響を受けるため、原単位で管理する。)

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
排出量	308t	1,592t	61t	20t	5t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(令和5年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t

○目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(令和5年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t

○目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度(令和5年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t	0t

○目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度(令和5年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
全処理委託量	311t	1,608t	62t	20t	5t
優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
再生利用業者への処理委託量	311t	0t	0t	20t	5t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	1,608t	62t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t

○目標(生産増減の影響を受けるため、原単位で管理する)

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油・廃液	0600 廃プラスチック	1200 研磨屑	1300 砥石屑
全処理委託量	308t	1,592t	61t	20t	5t
優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
再生利用業者への処理委託量	308t	0t	0t	20t	5t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	1,592t	61t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t